

授業概要

乳幼児期の発達についての基礎的な知識を学びながら、乳幼児への理解を深め、さらに「子どもの発達にとって大事なものはなにか？」について考える視点を身に着けることがこの授業の目的です。子どもの姿を理解するためのエピソード、最新のトピック、映像教材を用います。場合によってはディスカッションを行います。

授業計画

第1回	オリエンテーション：幼児心理学とはなにか？
第2回	人間の赤ちゃんの有能性
第3回	乳幼児期における親子のコミュニケーションと発達
第4回	乳幼児期のアタッチメントの発達
第5回	乳幼児の情動とコンピテンスの発達
第6回	乳幼児の気質とその発達
第7回	乳幼児の認知と表象機能の発達（1）感覚操作期
第8回	乳幼児の認知と表象機能の発達（2）前操作期以降
第9回	乳幼児の言語の発達
第10回	乳幼時の遊びの発達
第11回	乳幼児の記憶・知能の発達
第12回	乳幼児の強みの発見
第13回	乳幼児期の気になる子
第14回	乳幼児期の臨床的問題とその支援
第15回	乳幼児期の振り返りとまとめ
第16回	総まとめ（定期試験）

到達目標

- ・幼児理解についての知識を身に付け、考え方や基礎的態度を理解する。
 - ・幼児理解の方法を具体的に理解する。
- ※乳幼児の発達に関する基本的な知見や知識を理解し、考察を深めることを目標とします。

履修上の注意

- ・原則20分以上の遅刻は欠席、遅刻は3回で1回の欠席とします。4回以上の欠席は、成績評価の対象外とします。
- ・小課題やディスカッション課題などを適宜行います。
- ・注意事項について初回の授業時に伝えるため、初回授業には必ず出席してください。
- ・本科目は心理学科開講の「乳幼児心理学」とは別の科目です。
(故に、心理学科の選択必修科目として本科目を履修することはできません。)

予習復習

復習を中心にしてください。授業の復習を身に着けるように心がけてほしいです。

評価方法

授業態度・参加度（20%）、小レポートやペーパー提出（30%）、定期試験（50%）、これらを踏まえた総合評価

テキスト

毎回プリント資料を配布します。必要に応じて参考図書も紹介します。
 【全体を通しての参考図書】
 学習指導要領
 内田伸子 2008 よくわかる乳幼児心理学 ミネルヴァ書房
 岡本依子他 2004 エピソードで学ぶ乳幼児の発達心理学 新曜社